

令和2年(2020年)6月14日(日曜日)

# 感染拡大のネパールに寄付

## マスク提供呼び掛け

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は、衛生環境の整備に向けて支援活動が続いているネパールに送るマスクの寄付を呼び掛けている。現地ではロックダウン(都市封鎖)の緩和により新型コロナウイルスの感染拡大が懸念される一方、マスクの不足が顕著という。不織布や政府支給の布マスクなど、「未使用品が余っていただければぜひ協力を」と訴える。

GW三島によると国境の封鎖を解いたインドで感染が急拡大し、隣接するネパールにも影響が及んでいる。国内の感染者数は1日に数百人程度とされるが、現地との連絡を続ける渡辺豊博専務理事は「山間部は実態がつかめず、さらに1桁増える可能性もある」という。手洗いやマスク着用の習慣はなく、「予防意識がそもそも低い。打つ手が無い状態」と語る。

### GW三島「余っていただければぜひ」



ネパールへ送るマスクの提供を呼びかける関係者  
＝三島市のグラウンドワーク三島

2015年の大地震を前後してネパールへ支援を始めたGW三島は現在、バイオトイレの設置に向けて準備を進めている。コロナ禍で計画がストップしているものの、「目的

は衛生環境の整備。今はマスクを送ることで意識を高めた」。コロナとの長期戦も見据え、ネパール日本友好協会(山梨県)と連携しながら一つでも多くのマスクを現地に届けたいという。

不織布のほか政府支給や手作りの布マスクなど未使用品の寄付を募り、一定数が集まり次第ネパールに送る予定。提供者は、同市芝本町のGW三島事務所  
三島八重 055(983)0136へ。